

# 2018 年度事業報告書

## I 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 法人概要

### 1 設立目的及び概況

#### (1) 設立目的

この法人は、持続性可能な社会、すなわち低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現するため、市民・事業者・行政・教育機関と連携を強め、広く環境保全活動を推進することにより、環境に配慮した市民の自主的な行動による地域社会づくりに寄与することを目的とする。

#### (2) 概 況

##### ア 設立年月日

2001 年 2 月 14 日

##### イ 出捐金

金 50,000,000 円（全額京都市出捐）

##### ウ 実施事業

- (ア) 環境意識の普及，啓発に関する事業
- (イ) 環境情報の発信事業
- (ウ) 環境保全に関する調査，研究に関する事業
- (エ) 環境教育及び人材育成に関する事業
- (オ) 環境保全のための市民，事業者等との連携，支援に関する事業
- (カ) 環境意識の向上のための国際的な連携，支援に関する事業
- (キ) 環境保全活動に関する施設の管理運営
- (ク) その他，この法人の公益目的を達成するために必要な事業

## 2 役員等の状況（2019年3月31日現在）

### (1) 役員等の数

理事長 1人      専務理事 1人  
 理事 7人      監事 2人      評議員 12人

### (2) 役員等名簿

#### ア 役員名簿

（敬称略・順不同）

役職	氏名	備考
理事長	高月 紘	京都大学名誉教授
専務理事	浅野 和子	公益財団法人京都市環境保全活動推進協会事務局長
理事	杵本 育生	特定非営利活動法人環境市民代表理事
〃	田浦 健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク事務局長
〃	橋本 直子	株式会社 Hibana 代表取締役
〃	花田真理子	大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授
〃	久山喜久雄	フィールドソサイエティ代表
〃	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授・政策学部教授
〃	山中かおり	京都市環境政策局地球温暖化対策室担当部長
監事	野村 克章	税理士
〃	村中 俊文	京都市環境政策局環境企画部長

#### イ 評議員名簿

（敬称略・順不同）

役職	氏名	備考
評議員	浅利 美鈴	京都大学地球環境学学准教授
〃	市川 智史	滋賀大学環境総合研究センター教授
〃	中田富士男	京都市ごみ減量推進会議理事
〃	永橋 爲介	立命館大学産業社会学部教授
〃	長屋 博久	有限会社村田堂取締役
〃	原 強	京都循環経済研究所所長
〃	桑 善子	有限会社思風都代表取締役会長
〃	周 瑋生	立命館大学政策科学部教授
〃	田中 克	京都大学名誉教授
〃	山元 新司	株式会社京都銀行公務・地域連携部地域活性化室長
〃	南山 泰宏	京都教育大学環境教育実践センター教授
〃	森元 正純	京都市環境政策局地球温暖化対策室長

### 3 理事会・評議員会の開催状況

#### (1) 理事会

	開催日	審 議 事 項	結果
第20回	2018年 4月25日	議第1号 決議の省略について(案) 議第2号 3団体統合について(報告)	承認
第21回	2018年 5月29日	議第1号 2017年度事業報告書(案) 議第2号 2017年度決算報告書(案) 議第3号 「公益財団法人京都市環境保全活動推進協会」 「京のアジェンダ21フォーラム」「京都市ごみ減 量推進会議」の団体統合(案) 議第4号 「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である 事項等(案)」	承認 承認 承認  承認
第22回	2018年 6月12日	議第1号 「公益財団法人京都市環境保全活動推進協会」「京 のアジェンダ21フォーラム」「京都市ごみ減量 推進会議」の団体統合(案)	承認
第23回	2018年 6月19日	<書面決議> 議第1号 代表理事1名選定の件 議第2号 専務理事1名選定の件 議第3号 事務局長1名委属の件	承認 承認 承認
第24回	2018年 7月30日	<書面決議> 議第1号 理事の利益相反取引に係る承認の件	承認
第25回	2018年 12月5日	報第1号 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に ついて(報告) 報第2号 南部クリーンセンターについて(報告)	
第26回	2019年 3月20日	議第1号 平成31年度事業計画書(案) 議第2号 平成31年度予算書(案) 議第3号 評議員会の決議の省略について(案) 議第4号 3団体統合に係る諸規則について(案) 報第1号 代表理事及び業務執行理事の職務状況(報告) 報第2号 協会組織基盤強化戦略について(報告) 報第3号 韓国自然の友研究所との協定について(報告)	承認 承認 承認 否決

## (2) 評議員会

	開催日	審 議 事 項	結果
第 8 回	2018年 5月15日	<書面決議> 議第1号 理事1名選任の件	承認
第 9 回	2018年 6月19日	報第1号 2017年度事業報告書（報告） 議第1号 2017年度決算報告書（案） 議第2号 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会の自律化について（案） 議第3号 理事の選任について（案） 議第4号 監事の選任について（案） 議第5号 評議員の選任について（案） 報第2号 「公益財団法人京都市環境保全活動推進協会」「京のアジェンダ21フォーラム」「京都市ごみ推進会議」の団体統合（報告）	承認 承認 承認 承認 承認
第 10 回	2019年 3月26日	<書面決議> 議第1号 理事1名選任の件	承認

## 4 職員数（平成31年3月31日現在）

（単位：人）

理事 長	専 務 理 事	総 務 課						事 業 課								合 計
		事 務 局 長	課 長	課 長 補 佐	事 務 職 員	再 雇 用 職 員	小 計	部 長	課 長	課 長 補 佐	事 業 職 員	事 務 職 員	研 修 職 員	臨 時 職 員	小 計	
1	1	(1)	1	0	3	1	5	1	3 (1)	1	11	1	2	5	23	30

※事務局長は、専務理事が事務取扱としている。また、事業課長のうち1名は、事業部長が事務取扱としている。事務取扱対象者は、（ ）で表示している。

## Ⅱ 2018 年度実施事業内容

### 1 公益目的事業

#### (1) 環境学習・環境保全活動支援事業

受託事業 京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務

- 1111 環境の保全に関する活動のための施設の提供
- 1121 環境の保全に関する資料及び装置の展示
- 1131 環境の保全に関する情報の収集及び提供
- 1141 啓発冊子発行
- 1142 環境副読本発行
- 1143 広報誌の発行
- 1144 ホームページ等による情報発信
- 1145 各種講座や講演会の企画と実施
- 1146 各種団体との連携事業
- 1147 環境ボランティアの育成
- 1148 環境保全活動に関わる人材の育成
- 1149 海外との交流
- 1150 大学生の環境活動支援

#### (2) 国際事業

- 1201 J I C A 課題別研修「廃棄物管理能力向上」業務
- 1202 J I C A 草の根事業「イスカンダル・マレーシア地域における低炭素社会づくりに向けた人づくり・地域づくり」プロジェクト
- 1203 J I C A 日系研修受け入れ業務
- 1204 J I C A 中国 日中友好環境保全センター「環境にやさしい社会構築プロジェクト」支援業務（研修受託業務・専門家派遣）
- 1205 その他国際事業（調査、案件形成等）

#### (3) 地域環境活動支援事業

- 1301 京都市「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援業務
- 1302 京都市「市民協働発電制度地域コミュニティ版コーディネーター派遣業務」

#### (4) 講師派遣事業

- 1401 講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）

#### (5) 調査・研究・開発・発信事業

- 1501 これまで蓄積してきたノウハウのソーシャル・ビジネス化

### 2 収益事業

- 5101 施設の使用許可及び公金徴収事務

### 3 事業計画と主な実績

※（ ）内の数字は、2018年度予算額（人件費除く。）

※下線部は、2018年度事業計画書の記載内容を転記

#### (1) 環境学習・環境保全活動支援事業（事業番号 1111～1150）

京都市環境保全活動センター（以下「京エコロジーセンター」という。）の2018年度年間入館者数は、93,491名でした。（開館した2002年度から2017年度までの過去16年間の年平均の来館者数は85,059名。2018年度末までの累積来館者数は、1,454,435名となりました。）

2015・2016年度は2年連続で開館以来最大となる年間入館者数数10万人を超えましたが、職員に掛かる負担や業務量も比例して増えている状況であったことから、2017年度以降、業務量と来館者数を含む成果のバランスを見直してきました。その結果、2017年度は93,009名と7,000名強の減少となりました。これを踏まえ、2018年度は業務量のバランスを意識しながらも、少なくとも前年度以上の来館者数を目指して事業を進めてきました。

結果、2018年度は、台風等による臨時休館が5.5日（通常通りこの期間を開館できていれば、前年度実績からの推計で1,100名程度の来館者数が見込める）があったにもかかわらず、僅かですが前年度の来館者数を上回ることができました。これは本年度リニューアルしたホームページやSNS等を活用した細かな広報活動、及び併設する青少年科学センターとの広報やキャンペーン等を通じた連携による部分が大きいと考えています。

今後も継続して、効果的な広報活動を行うことや青少年科学センターとの連携をさらに強化することはもちろん、館内における魅力的なコンテンツ（展示、企画展、イベント、学習プログラムやツール等）の充実化に注力することで、さらなる新規来館者の獲得やリピーターの確保に努めます。

京エコロジーセンター指定管理業務について、4年間の指定管理期間の2年目として、事業番号1111～1150の事業を行いました。

#### 1111 環境の保全に関する活動のための施設の提供（530,000円）

京都市の環境教育・学習の中核施設として、身近な生活や京都の特性を活かした環境教育・学習の促進を図り、団体見学や一般来館者の見学内容を充実させます。団体見学においては、PRチラシを作成し配布するなど、広報を強化します。また、一般来館者には来館者アンケートを継続的に実施し、得られたご意見をもとに事業の改善を図っていきます。

<2018年度結果>

- ・ 団体見学では、国内外から様々な団体の見学を受入れました。年間受入件数は、338件（8,303名）で、そのうち団体見学が167件（4,920名）、京都市立小学校を対象にしたセンター学習が171校（3,383名）でした。前年度と比べて団体見学は、11%（597名）、エコ学習は27%（1,225名）減少しました。受入件数自体は前年度（345件）から大きく減少していませんので、1団体を構成する人数が少なかったことが大きな要因と考えられます。
- ・ 団体見学を広く広報し、見学者数の増加を図るために、京都府南部近郊の他府県（高槻市、奈良市及び大津市等の26市町）の小学校へ団体見学案内チラシを郵送する際、見学案内を印刷したクリアファイルに挟んで送り、送付先も前年度の290校から568校へ大幅

に増やしました。旅行会社を対象にした団体見学チラシの配布は前年度の 221 社から 240 社へ増やしました。

- ・ 「エコセン通い帳」は、年間で延べ 2,316 名が参加しました。また、「エコの達人認定証」を 60 枚発行し、スタンプを 60 個集めた殿堂入りが新たに 4 名誕生しました。
- ・ 来館者アンケートは、年間 508 件の回答を得ました。来館目的に関する設問では、「たまたま来館」が最も多く (15%)、次いで「木のおもちゃひろばの利用イベント参加」(13%)、「展示の見学」「図書コーナーの利用」などでした。満足度に関する設問では、「また来館したい」が最も多く (86%)、次いで「どちらでもない」(11%)、「来館したくない」(3%) という結果になりました。また、来館のきっかけが「科学センター」と回答したのは全体の 35% でした。

### 1121 環境の保全に関する資料及び装置の展示 (5,970,000円)

京エコロジーセンターの常設展示内容を最新情報に更新し、より多くの方に展示を通して環境保全に関わる啓発を行うとともに、展示リニューアルに向けて、資金調達も含めた調査を実施します。また、京エコロジーセンター主催の企画展のみならず、他団体との共同主催型企画展等、期間限定の企画展示を年間で複数回開催します。

<2018年度結果>

- ・ 展示を一部リニューアルしました。グリーンコンシューマーの展示では、古くなった展示物の入替や追加を行い、身近に買い物と環境を意識できるようにしました。
- ・ 企画展示は、主催の企画展示 5 件、共同主催型企画展示 4 件、公募型企画展 1 件、計 10 件を開催し、企画展関連イベントを 4 件実施しました。1 月から開催中の主催の企画展「絵本で学ぶ世界の環境展～SDG s の視点で選ぶ絵本の世界～」では、子どもも環境について学べるよう、また、日本国内だけでなく海外のことも学べるような工夫をしました。
- ・ 木のおもちゃひろばは、年間で 8,602 名の利用がありました。
- ・ ちきゅまるのはこは、年間で 2,020 名の利用がありました。

企画展 ( ☆ 主:主催 公:公募型 共:共同主催型 )

☆	開催期間	タイトル (共催団体等)
主	5 月 22 日～7 月 1 日	「世界のこども環境絵画展」
主	7 月 13 日～12 月 16 日	「水素から未来のお知らせ」
公	7 月 18 日～8 月 29 日	「2017 年度 (第 15 回) 京都環境賞受賞者の活動紹介パネル展示」(京都市環境政策局環境企画部環境管理課)
共	7 月 20 日～9 月 3 日	「夏休み限定! クールチョイス☆チャレンジ展～ミッションをクリアしよう!～」(京都府地球温暖化防止活動推進センター)
共	9 月 10 日～9 月 28 日	「農業・農村のいろいろな働き～農業・農村の多面的機能～」(近畿農政局)
共	10 月 31 日～11 月 7 日	「第 33 回京都まちとみどり写真コンクール展示会」(京都府都市計画協会)

主	11月14日～12月12日	「2019年 環境カレンダー原画展」
共	1月11日～3月31日	「ごみ減量プロジェクト ～廃棄学校制服が大変身！～」 ((一社) 日本繊維機械学会繊維リサイクル技術研究会)
主	1月12日～3月31日	「地球温暖化に生きる生きもの展」
主	1月12日～6月30日	「絵本で学ぶ世界の環境展～SDGsの視点で選ぶ絵本の世界～」

#### 企画展関連イベント

開催日	タイトル	講師	参加人数
12月9日	水を使った自分だけの電池を作ろう	職員	45
1月13日	絵本の読み聞かせ会	朝日 仁美氏 (JPIC 読書アドバイザー/絵本専門士)	56
2月2日	北限に生きる動物のオーナメント作り	職員	16
3月30日	絵本から広がるSDGs スタンプでエコバッグ作り	石橋 幸子氏 (NPO法人 アトリエPetata 理事長)	80

#### **1131 環境の保全に関する情報の収集及び提供 (900,000円)**

環境に関する資料を幅広く収集し、環境図書コーナーにおいて閲覧に供することで、市民の環境意識の向上を図ります。また、京都市や京都府、国、その他市民活動団体の環境保全に関する情報を随時収集し、環境図書コーナー等において情報を発信します。

#### <2018年度結果>

かんきょう図書コーナーを通して、市民に環境への関心を高める機会を提供しました。年間で貸出人数 743 名、貸出冊数が 2,518 冊あり、370 冊の資料を新たに追加しました。さらに、児童書コーナーに、資料が取出しやすく選びやすい本棚を新たに設置しました。

#### **1141 啓発冊子発行 (100,000円)**

より多くの市民、事業者等に環境保全について理解してもらうため、身近なテーマを取り上げ、絵や写真、グラフ等を用いてわかりやすく説明した啓発冊子を年1回発行し、区役所や図書館等の市内各所に配架します。

#### <2018年度結果>

市民の環境意識を高めるために、IPCC第49回総会京都市開催に向けて「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」をテーマとし、京都宣言の紹介、温暖化の現状、温暖化が進んだ場合の京都の状況、緩和策、適応策、IPCC第49回総会京都市開催について記載した冊子を11月に発行しました。(A4判8ページ、4,000部)

### 1142 環境副読本発行 (4,400,000円)

地球温暖化をはじめ幅広く環境問題について学べる環境副読本(小学4年生用,5年生用,中学生用)を作成し,市内すべての小学校および中学校に配付します。最新のデータを掲載し,時勢にあわせたテーマのコンテンツを盛り込むなど,学校現場での環境学習ツールとしてより活用されるよう,必要な更新と改訂を行います。

#### <2018年度結果>

総合的な学習の時間や各教科内で環境をテーマに学習する際に活用される2019年度版環境副読本を作成し,京都市内の全小中学校や関連機関・協力団体等に配布しました。配布時には同副読本の活用を増やすためのアンケート用紙を同封し,学校現場の意見収集に努めています。また,同副読本は,京エコロジーセンターHPへも掲載し,ダウンロードや,学習の補助教材として活用できるインタビュー動画を見ることができるようになっています。小学4年生用,小学5年生用各14,500部,中学生用15,500部を印刷しました。

### 1143 広報誌の発行 (3,750,000円)

読者が家庭でエコな暮らしを意識・実践し,京エコロジーセンターへ来館するきっかけをつくるために,読者ターゲットを意識した季刊誌「えこせん」を年間で6回発行します。発行した季刊誌は,区役所や図書館,児童館,京都市動物園等,市内各所に配架します。

#### <2018年度結果>

季刊誌『えこせん』を隔月での年6回,毎号5,500部発行し,京エコロジーセンター館内や市内各所に配架しました。季刊誌のコンセプト「京のくらしと人とエコ」やメインの読者層である親子層や女性を意識し,様々な切り口から家庭で取組めるエコライフを紹介するなど,読みやすい誌面づくりを行いました。また,特集と京エコロジーセンターで実施するイベントやかんきょう図書コーナーと関連付け,読者に京エコロジーセンターへの来館や利用を促しました。

発行号	発行日	特集1	特集2
No. 55 (6月号)	5月20日	未来をおもう人間はとても美しい (伊勢武史氏:京都大学フィールド科学教育研究センター准教授)	いろいろな食べ方
No. 56 (8月号)	7月20日	ものづくりと真剣に向き合って (藤岡正章氏:藤岡酒造 蔵元)	暮らしに欠かせない水
No. 57 (10月号)	9月20日	かっこいいってなんだろう (森裕佑氏:凜靴)	ドライフラワーとスワッグ
No. 58 (12月号)	11月20日	サステナブルな社会はきっと楽しい (渡邊良則氏:(株)サーカスコーヒー)	洗剤を使わないそうじ術

No. 59 (2月号)	1月20日	私たちだけにできること (寺田綾乃氏：日本野鳥の会京都支部)	おみそ汁のススメ
No. 60 (4月号)	3月20日	私たちの森は私たちの手で守ろう (京都宝の森をつくる会)	春のトレッキング

#### **1144 ホームページ等による情報発信 (6,286,078円)**

リニューアルした京エコロジーセンターのホームページを活用し、京エコロジーセンターの情報を発信するだけでなく、他団体による活動の情報発信を行う等、より効果的に情報を収集するとともに発信を行います。あわせてSNSの活用やプレスリリースの発信、外部の広報媒体を新たに開拓し活用する等、より効果的な情報発信を行います。

<2018年度結果>

- ・ イベント案内チラシを隔月で年6回、約4,500部発行し、京エコロジーセンター館内や市内各所に配架したほか、ホームページやメールマガジン、外部のイベント情報媒体等を活用して情報発信を行いました。
- ・ プレスリリースは6件行いました。
- ・ 様々な人が見られるように多言語化や文字の大きさの変更等ができるようにホームページを全面リニューアルした結果、アクセス数がリニューアル前と比べ3月末時点で約6,000件増加しました。
- ・ 隣接する青少年科学センターとの連携で「春休み京エコロジーセンター ノベルティプレゼントキャンペーン」を3/23から4/7の期間で実施し、来館者の促進に努めました。

#### **1145 各種講座や講演会の企画と実施 (2,120,000円)**

環境問題に関心のない人が関心を持ち、関心のある人が環境に配慮したライフスタイルを実践するきっかけをつくるために、市民が興味を持ちやすく、家庭や学校、職場、地域等での実践につながるような、身近な暮らしや社会に関連した内容のイベントをパートナーシップで企画・実施します。

<2018年度結果>

- ・ 親子向けから環境に関心のある大人の方まで、幅広い層が楽しみながら暮らしの中でできるエコや持続可能な社会について学べる木の工作、エネルギー、大人向けの映画会など多様なテーマのイベントを企画・実施しました。
- ・ 開館16年記念イベントとして、4月に「シンポジウム 極地から見てきた地球温暖化～持続可能な未来の暮らしを目指して～」を開催、10月にはIPCC総会京都市開催記念京都宣言発信リレー事業の一つとして、「シンポジウム 気候変動から見たSDGs ～世界を変える市民のチカラ～」を開催しました。

- ・ 12月には環境と防災をテーマにした全館イベント「エコセン防災キャラバン」を2日間実施しました。
- ・ 「エコそらキッズ」では、抽選で選ばれた小学1～4年生とその家族45名を対象に、屋上の田畑やビオトープで、1年間の継続プログラム（15回実施，参加者総数426人）を実施しました。

実施件数:41件 参加者総数：3,931名

開催日	タイトル	講師	参加人数
4/15	京エコロジーセンター開館16周年イベント シンポジウム「極地から見えてきた地球温暖化～持続可能な未来の暮らしを目指して～」	高月紘氏（京エコロジーセンター一館長），山内 恭氏（国立極地研究所 総合研究大学院大学名誉教授），江守 正多氏（国立環境研究所 地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室長）	82
5/12	第1回 エコそらキッズ		40
5/20	映画「tomorrow～パーマネントライフを探して～」		62
5/26	親子で簡単重ね煮クッキング	いんやん倶楽部	17
6/2	第2回 エコそらキッズ		23
6/10	南極クラス in エコセン	(株) ミサワホーム総合研究所	19
6/30	第3回エコそらキッズ		39
7/1	買い物袋でマイバックづくり	poRiff	25
7/14	第4回エコそらキッズ		30
7/22	映画「ロボット」上映会		218
7/25	いきもの探偵団		19
7/28	曇ってな～に？雲を知って，お天気博士になろう	日本気象予報士協会関西支部 楽しいお天気講座	95
7/29	作って遊ぼう！くるりん積み木カー	Let wood be 中山カズト氏	84
7/31	「すいそ」エネルギーで，最先端の車を走らせよう！	本田技研株式会社	64
8/3	ガラス絵作り ～空きびんのリサイクル体験～	宝酒造株式会社	45
8/4	第5回エコそらキッズ		37
8/5	電車のエコを知ろう！～クイズ de 京阪&制服でハイチーズ～	京阪ホールディングス株式会社	120

8/5	子どもクッキング教室～自分で作るカンタンごはん～	平田早紀子氏	24
8/8	ワラを使ったオブジェ作り	藤井桃子氏（花背 WARA）	32
8/17	葉っぱや草花でしおりを作ろう！	名神深草森の会	94
8/19	京都の木でイスを作ろう	京都木材青年経営者協議会	78
8/25	第6回えこそらキッズ		27
9/8	第7回えこそらキッズ		30
9/13	地球温暖化の意識啓発アニメ『ガラスの地球を救え！』上映会		68
9/29	第8回えこそらキッズ		22
9/30	あるもん de 簡単パーティークッキング（※台風24号のため中止）	あるもん de プラス	-
10/13	第9回えこそらキッズ		14
10/20	気候変動から見たSDGs ～世界を変える市民のチカラ～	大井通博氏（環境省地球環境局総務課研究調査室 室長）藤野純一氏（公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）都市タスクフォースプログラムディレクター上席研究員）大西啓子氏（認定NPO法人きょうとグリーンファンド）石崎雄一郎氏（ウータン・森と生活を考える会）大豊盛重氏（公益社団法人日本国際民間協力会（NICCO））	88
11/10	第10回えこそらキッズ		28
11/23	カカオ豆からチョコレートを作ろう！	Dari K 株式会社	59
11/24	第11回えこそらキッズ		30
11/25	乾物を使った簡単クッキング～身近な乾物でもう1品～	江種友紀氏（Honey Ant）	11
12/1 12/2	エコセン防災キャラバン～エコで家族と地球を守ろう！～		1,811
12/8	第12回えこそらキッズ①		20
12/15	第12回えこそらキッズ②		21
1/12	第13回えこそらキッズ		27

1/20	映画「おだやかな革命」上映会		91
1/26	第14回えこそらキッズ		38
2/3	おうちで挑戦！MY味噌づくり		50
2/23	お米のクッキング	かみなか農楽舎	21
3/2	身近な野鳥を見てみよう		8
3/21	映画「ナッツジョブ サーリー&バディのポジションピーナッツ大作戦！」上映会		220

#### 1146 各種団体との連携事業 (50,000円)

市民、NPO、事業者等との連携を図り、求めに応じて幅広い環境保全活動を対象とした総合的な支援を行います。他団体とパートナーシップによる事業実施を行うとともに、その実績や成果をまとめます。

<2018年度結果>

- ・ 地域コミュニティと連携して、京都市内の元学区に、ボランティア延べ183名を派遣して、ブース出展や学習会等の環境啓発プログラムを行いました。
- ・ 教育機関と連携して、京都市教育委員会が実施する「生き方探求・チャレンジ体験」推進事業において、桃陵中学校の生徒2名の職場体験を受入れました。
- ・ 一般財団法人祇園祭ごみゼロ大作戦が主催する「祇園祭り ごみゼロ大作戦2018 ボランティアリーダー研修会」で、参加した大学生40名を対象に、ボランティアリーダーとしての心構えやグループプロセスについての研修を行いました。

実施件数：63件

開催日	名称	会場	内容
5/15～ 5/18	桃陵中学校 職場体験	京エコロジーセンター	職場体験
5/19	祇園祭ごみゼロ大作戦2018 ボランティアリーダー研修会	京エコロジーセンター	ボランティアの心構え等の研修
6/22	鏡山学区 ごみ減量学習会	鏡山小学校	ごみに関する講義等
7/15	板橋まつり	板橋小学校	発電体験等出展
7/21	境谷夏まつり	境谷小学校	発電体験等出展
7/21	夏の夜市	村山公園	発電体験等出展
7/27	防災と音楽の夕べ	桂東小学校	発電体験等出展
7/28	夏祭り	修学院第二学小学校	発電体験等出展

8/4	桃山地域女性会 スクール 21 学習会②「エコ料理でガス代を 節約しよう」	京エコロジーセンター	省エネに関する 講義 等
8/4	エコサマーフェスタ	元梅逕中学校	発電体験等出展
8/4	中立ふれあい広場	新町小学校	省エネに関する 講義 等
8/4	上賀茂夏まつり	上賀茂小学校	発電体験等出展
8/5	久多夏の里山まつり	久多の里自然環境活用セ ンター	発電体験等出展
8/5	夏祭り	嵐山小学校	発電体験等出展
8/19	柗野地区 北葵野町地藏盆祭り	北葵野町	省エネに関する 講義 等
8/25	待鳳まつり	待鳳小学校	省エネに関する 講義 等
9/1	桃山地域女性会 スクール 21 学習会③	桃山会館	省エネに関する 講義 等
9/2	桃山地域女性会学習会「エコク ッキングでガス代を節約しよう」	京エコロジーセンター	省エネに関する 講義 等
9/8	元町ふれあい土曜塾 「のこさずたべてね」	元町小学校 ふれあいサロ ン	省エネに関する 講義 等
9/15	ふれあいまつり	下鴨小学校	発電体験等出展
9/17	森のようちえん どろんこ園	宝が池公園憩いの森広場	発電体験等出展
9/23	ふれあいまつり	朱雀第三小学校	省エネに関する 講義 等
10/2	くらしの匠「説明会」	朱雀第三自治連合会館	省エネに関する 講義 等
10/5	伏見エコライフプロジェクト 「伏見えこな人図鑑」取材協力	京エコロジーセンター	環境ボランティア に対する取材
10/6	桃山地域女性会 スクール 21 学 習会④「省エネの取組報告」	桃山会館	省エネに関する 講義 等
10/7	スポーツフェステバル	池田小学校	発電体験等出展
10/16	くらしの匠「第1回集会」	朱雀第三自治連合会館	省エネに関する 講義 等
10/20	上高野ふれあいまつり	上高野小学校	発電体験等出展
10/27	御所南コミュニティ環境部会	御所南小学校	省エネに関する 講義 等
10/28	桂坂ふれあいまつり	桂坂小学校	発電体験等出展
10/28	ふれあいまつり	西野小学校	発電体験等出展

10/31	くらしの匠「説明会」	京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター	省エネに関する講義等
11/3	アイビーフェスタ	成徳学舎（元成徳中学）	発電体験等出展
11/4	朱二ふれあいまつり	朱雀第二小学校	発電体験等出展
11/4	朱七こどもフェスティバル	朱雀第七小学校	発電体験等出展
11/7	くらしの匠「第1回集会」	京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター	省エネに関する講義等
11/8	くらしの匠「第3回集会」	朱雀第三自治連合会館	省エネに関する講義等
11/10	第2回葵学区親子まつり	葵小学校	省エネに関する講義等
11/11	防災訓練	元新洞小学校	防災に関する講義等
11/11	西院ふれあいまつり	西院中学校	省エネに関する講義等
11/14	くらしの匠「第2回集会」	京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター	省エネに関する講義等
11/17	親と子の秋のつどい	伏見板橋小学校	発電体験等出展
11/23	深草100円商店街	深草小学校	発電体験等出展
12/2	歳末広場	御所南小学校	発電体験等出展
12/5	くらしの匠「第3回集会」	京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター	省エネに関する講義等
12/9	各種団体役員会	羽束師小学校	防災に関する講義等
12/16	大將軍まつり （ふれあいもちつき大会）	大將軍小学校	おもちゃの交換会
12/23	餅つき大会	稚松公園 体育館	発電体験等出展
1/6	消防団初出式	北白川小学校	発電体験等出展
1/13	北風と遊ぼう	京都市立桃山小学校	発電体験等出展
1/16	くらしの匠「説明会」	乾隆小学校	省エネに関する講義等
1/20	新春もちつき大会	京都まなびの街生き方探究館	発電体験等出展
1/26	餅つき大会	養徳小学校	発電体験等出展
1/27	冬の格致区民ふれあい広場	下京雅小学校	発電体験等出展
1/30	くらしの匠「第1回集会」	乾隆小学校	省エネに関する講義等

2/7	くらしの匠「説明会」	醒泉会館	省エネに関する 講義 等
2/9	もちつき大会	新林小学校	発電体験等出展
2/13	くらしの匠「第2回集会」	乾隆小学校	省エネに関する 講義 等
2/18	くらしの匠「第1回集会」	醒泉会館	省エネに関する 講義 等
2/21	家庭の省エネに関する学習会	日彰学区自治会館	省エネに関する 講義 等
3/4	くらしの匠「第2回集会」	醒泉会館	省エネに関する 講義 等
3/13	くらしの匠「第3回集会」	乾隆小学校	省エネに関する 講義 等
3/18	くらしの匠「第3回集会」	醒泉会館	省エネに関する 講義 等

#### **1147 環境ボランティアの育成 (2,676,000円)**

来館者に対し館内の展示物、環境に配慮した設備を紹介する環境ボランティア（エコメイト）を募集し、養成講座を実施します。また、環境ボランティアのマネジメントを1年間通して行います。さらに、マネジメントによる成果や効果を測る指標を作り、対外的に発信できるようにまとめます。

<2018年度結果>

- ・ 事務局全体でボランティアのコーディネートを行うとともに、ボランティア全体の活動意欲を高める場を年間7回実施しました。その結果、受付カウンターでのガイド活動における充足率（応募人員／募集定員）は105%となり、ボランティアが自主的に活動を展開するグループ活動では、ボランティアによる自主企画が年間で13件（対外的なイベント・催しは13回）実施されました。
- ・ ボランティアを対象に、環境問題に関する最新情報や伝え方のスキルを学ぶ研修を、年間8回実施しました。
- ・ 新規エコメイトの募集においては、京都市内を中心に、リビング新聞や週刊テレビ&トマト、毎日新聞や読売新聞、京都新聞朝刊に折込みを入れるなど幅広く広報を行い、応募者に対してエコメイト養成講座を実施しました。その結果、20名が新規エコメイトとして登録することになりました。

◇ボランティア全体の活動意欲を高める場（マネジメントの会）

開催日	タイトル	対象	参加人数
4月1日	登録証授与式	エコメイト、京エコサポーター	25
4月1日	スタートアップの会	エコメイト	32
7月1日	ボランティア全体ミーティング①	エコメイト、京エコサポーター	33

9月9日	エコメイト中間ふりかえりの会	エコメイト	24
12月22日	ボランティア全体ミーティング②	エコメイト, 京エコサポーター	28
3月24日	エコメイト年間ふりかえりの会	エコメイト	26
3月24日	修了証授与式	エコメイト, 京エコサポーター	42

◇ボランティア企画のイベント

開催日	タイトル	実施グループ名	参加人数
6月17日	水みず大作戦～かっこいい水の使い方～	登録グループ 「イベントグループ」	53
6月17日	うちごみ相談所	ワーキンググループ	25
7月24日～ 8月27日	ボランティア推薦図書特別展示 絵本 &POP (P-POP 展)	登録グループ 「図書グループ」	22 ※貸出数
7月26日	エコセン☆夏休みワクワクひろば～ミ ニイベントにみんな集まれ～	登録グループ 「イベントグループ」	27
8月2日	エコセン☆夏休みワクワクひろば～ミ ニイベントにみんな集まれ～	登録グループ 「イベントグループ」	51
8月9日	エコセン☆夏休みワクワクひろば～ミ ニイベントにみんな集まれ～	登録グループ 「イベントグループ」	38
8月10日	うちごみ相談所	ワーキンググループ	37
8月12日	ペットボトルでマイ風力発電機を作ろ う	登録グループ 「エコエネクラブ」	81
8月16日	エコセン☆夏休みワクワクひろば～ミ ニイベントにみんな集まれ～	登録グループ 「イベントグループ」	114
9月15日	エコロジーカフェ「昔と今のおやつを 考えよう～」	登録グループ「♪エコロ ジーカフェ♪の会」	7
10月5日	図書グループ「図書コーナー利用につ いての講習会」	登録グループ「図書グル ープ」	3
10月9日～ 11月26日	図書グループ「読書週間 POP 展 (図書 紹介カード)」	登録グループ「図書グル ープ」	3 ※貸出数
11月3日	ワーキンググループ「うちごみ相談 所」	ワーキンググループ	21
12月16日	エコエネクラブ「ペットボトルでマイ エコライトを作ろう！～クリスマス・ バージョン 2018～」	登録グループ「エコエネ クラブ」	37
1月12日	エコロジーカフェ「” お茶” を飲みく らべてみよう！」	登録グループ「♪エコロ ジーカフェ♪の会」	7
1月19日	イベントグループ「エコ紙芝居～プラ ごみを考えよう」	登録グループ 「イベントグループ」	32
2月16日	うちごみ相談所	ワーキンググループ	42

◇環境問題に関する最新情報や伝え方のスキルを学ぶ研修（ボランティア研修）

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	4月14日	効果的な伝え方を知ろう ～マナー&コミュニケーション編～	18
第2回	5月19日	エコセンの設備を知ろう	22
第3回	6月13日	社会見学～ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）を知ろう～	40
第4回	8月5日	子どもの来館者対応について	22
第5回	10月20日	水に関する情報収集	25
第6回	11月17日	食に関する情報収集	23
第7回	12月9日	ごみに関する情報収集	30
第8回	1月20日	地球温暖化に関する最新情報	44

◇エコメイト養成講座

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	1月6日	エコセン・ボランティアきほんのき	20
第2回	1月19日	環境問題・エコセンの展示きほんのき	17
第3回	1月27日	環境学習きほんのき	17
第4回	2月9日 ～10日	環境学習の場をつくり・まわすきほんのき①②	24
第5回	2月15日 ～16日	実習 オリエンテーション	16
実習	2月17日 ～3月9日	実習期間	30
第6回	3月11日	これまでの講座のふりかえり&登録説明会	19

**1148 環境保全活動に関わる人材の育成（2,304,000円）**

市民を対象に、環境活動を行う人材として必要な専門性を獲得できるような人材育成講座を実施します。また、京エコロジーセンターの環境ボランティア修了生を対象に、地域で環境活動を広げていく上での課題やそのために必要な人材像を検討し、地域で環境活動を行う際に必要な専門性を担保するための情報提供を定期的に行います。

<2018年度結果>

- ・ 自然エネルギー学校・京都2018では、自然エネルギーの普及・啓発を図るため、企画し実践する人材を養成することを目的に「～自然エネルギー100%実現の方法を探る～」と題して、自然エネルギーに関する国内外の現状や事例について学べる連続講座を全5回にわたり開催しました。
- ・ 環境活動パワーアップ講座では、環境活動の企画、運営、実践までを一貫して学ぶために、効果的な環境活動を行うための仲間づくり、仲間や協力者を活かすコーディネート力を体系立てて学ぶことができる全5回の連続講座を開催しました。
- ・ エコメイト修了生に対して、地域の環境活動リーダーとして必要な知識・技術として、

“環境問題に対する理解”・“地域に対する理解”・“コミュニケーション力”の3つの視点からの情報提供を年間で6回行いました。

◇自然エネルギー学校・京都 2018「～自然エネルギー100%実現の方法を探る～」

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	6月30日	自然エネルギー100%に向かう世界の最新動向	25
第2回	8月4日	自然エネルギー普及の課題～電力系統～	21
第3回	8月18日	こうすれば自然エネルギー100%が実現できる!	19
第4回	9月15日	広がる!市民・地域の新電力会社	22
第5回	9月19日	エネルギー自立をめざす家を見学に行こう(見学会)	9

◇環境活動パワーアップ講座

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	10月13日	何を実現したいのか じっくり考え伝えてみよう	17
第2回	10月28日	仲間と一緒に思いをカタチにする力をつけよう	17
第3回	11月18日	どんな資源があるのか 様々なつながりを考えてネットワークを広げよう	14
第4回	12月28日	活動を企画する力を高める いろいろな立場の人と協働しよう	12
第5回	12月15日 16日	これから私たちは何をするのか 考え、伝え、多くの人にも呼びかけよう	27

**1149 海外との交流 (66,500円)**

環境先進都市として国内外の他都市との連携を図り、国際的な取組の推進に努めます。そのために、国際的な環境の取組に関する意識・関心を高めるための企画展およびイベントを企画・実施し、国内外の様々な人が集うきっかけをつくります。また、海外での環境活動や環境教育に関する事例や情報を収集・整理し、図書コーナー等を活用して発信し、海外の方にも活用できるようにします。

<2018年度結果>

- ・ かんきょう図書コーナーにおいて、日本語を母国語としない来館者にも地球温暖化や、環境教育等の資料を提供し、来館者の図書コーナーでの時間を充実したものとすることを目的に、外国語資料を3月に設置しました。言語は、英語・中国語・韓国語・ポルトガル語の4カ国語で、主な内容は地球温暖化・環境教育・廃棄物・生物多様性等です。引き続き、これまで国際事業などで関わりのあった関係者から情報を収集し、必要に応じて資料を充実していく予定です。

- ・ 今年度の海外からの団体見学対応は、30 団体 580 人（第1 四半期：9 団体 166 人，第2 四半期：6 団体 78 人，第3 四半期：10 団体 158 人，第4 四半期：5 団体 178 人）で、55 ヶ国から受入れました。

### **1150 大学生の環境活動支援（70,000円）**

大学生の環境活動支援に向けた実施策を検討・作成するために、大学生の環境活動を支援する各種団体とのネットワークを構築し、大学生が定期的に活動を始められる仕組みを整えます。

<2018年度結果>

- ・ 京エコロジーセンターを、大学生の環境活動の拠点施設として機能させるための仕組みについて検討するため、「ESD ユース・ネットワーク作業部会」を設置し、全7回を実施しました。この作業部会での協議を基に、次年度からの京エコロジーセンターにおける大学生の活動支援について検討を進めていきます。

#### ◇ESD ユース・ネットワーク作業部会

	開催日	タイトル
第1回	6月26日	若者(大学生)の活動支援の在り方について協議
第2回	7月17日	「若者(大学生)の活動支援」の「学びの場」について検討
第3回	8月27日	「若者(大学生)の活動支援」の「活動の場」について検討
第4回	9月25日	来年度から試行していくための仕掛けづくりについて 「ネットワーク」案協議
第5回	10月23日	①大学生に提供するプログラム具体案の決定 ②来年度以降試行していくためのスケジュール確認
第6回	12月10日	プログラムの内容，コンソーシアム体の構成について確認・協議
第7回	1月15日	次年度に向けた進め方の確認・総括

## (2) 国際事業 (事業番号 1201~1205)

### 1201 JICA 課題別研修「廃棄物管理能力向上」業務 (1,057,798円)

廃棄物管理に関わる行政職員を主な対象とした本研修では、廃棄物管理や政策に関わる講義や視察を行うだけでなく、市民参画による廃棄物減量や分別への協力をどのように得るのかという視点で2カ月にわたる訪日研修を企画・実施します。また、本研修で学んだことを活かし、参加した研修員がそれぞれの立場で実現可能なアクションプランを作成することを支援し、その実行にかかるフォローアップを行ないます。

#### <2018年度結果>

- ・ 廃棄物管理計画や実施に関わる海外の行政等の職員7名（アンゴラ1名、ブラジル3名、モザンビーク3名）を、8月30日から10月19日までの約2ヶ月間受入れ、京都市の廃棄物管理に係る取組事例や施設の視察を始め、市民参画や協働による廃棄物減量・管理などの日本の事例に学ぶ研修を実施しました。10月には研修で学んだことを自国で活かすための研修員それぞれのアクションプランを作成し、発表しました。それぞれのアクションプランが実行されるよう、研修終了後もフォローアップを行っていきます。

### 1202 JICA 草の根事業「イスカンダル・マレーシア地域における低炭素社会づくりに向けた人づくり・地域づくり」プロジェクト (19,074,561円)

2016年2月より3カ年計画で実施している本プロジェクトにおいて、プロジェクトの最終年度にあたる2018年度は、計画に基づいた事業を展開しつつ、3カ年のプロジェクト実施の成果や課題を整理し、マレーシアはもちろん京都へ発信し、海外での事業経験を国内に還元します。また、本プロジェクトをさらに発展させた第2フェーズに向けた調整と協議を行います。

#### <2018年度結果>

- ・ 当該地域での低炭素社会づくりに向けた①小学校でのエコライフチャレンジプログラム、②セカンダリースクールでの課題解決型環境教育プログラムの作成とモデル校での実施、③地域コミュニティを巻き込んだ環境活動の実施を柱としたプロジェクトを終了しました。
- ・ ①ではプロジェクト対象地のイスカンダル地域の全小学校231校にとどまらず、ジョホール州全体で400校を超える学校がすでに取組を開始しており、次のステップとしてジョホール州全小学校（約900校）での実施がターゲットとして設定されています。また京都市のこどもエコライフチャレンジと同じく、事前学習・事後学習の両方を行う発展版のプログラムを延べ60校で実施することができました。
- ・ ②では12校をモデル校として、継続的なプログラム実施のための教員向け研修を行い、3カ年で延べ126名が研修を受講し、それぞれの学校で取組を進めています。
- ・ ③では3つのモデルコミュニティにおいて、学校を中心としながら、地域住民を巻き込んだ環境活動が行われ、それらのモデルとなる取組を活動事例集としてまとめ、学校や地域コミュニティに配布し、それによりさらなる広がりが期待されます。
- ・ プロジェクトの最終年となる2018年度は、現地及び京都市内でそれぞれ最終成果報告

会（シンポジウム）を開催しました。現地シンポジウムでは関連イベントを含め、約 700 名の参加を、京都市でのシンポジウムでは 125 名の参加を得ることができました。また 3 ヶ年で延べ 57 名の訪日研修受入、延べ 57 名の専門家現地派遣を行いました。本プロジェクトで築いてきた関係性と活動基盤をさらに強化し、さらに発展的な活動を行っていくための第 2 フェーズについて、現地関係者と協議を進めています。

### **1203 JICA 日系研修受け入れ業務**

中南米の日系研修員を対象とした約 1 ヶ月間の JICA 日系研修「環境教育リーダー養成研修（都市型環境教育）」コースを企画・実施します。OJT 形式で協会の業務を行うことを通じ、環境教育プログラムの企画と実践方法や市民参画での環境教育・環境保全活動の推進のための視点を学び、帰国後それぞれの立場で活躍できる環境教育リーダーの育成を図ります。研修実施後は、その成果を整理し、発信します。（参加者からの応募があった場合のみ実施されることとなります。）

#### **<2018年度結果>**

2018 年度の日系研修の受け入れは、参加者応募がなかったため実施されないこととなりました。2019 年度の日系研修については JICA へ研修内容の提案を行い、採択を受けました。（実施は参加者募集を行い、応募者及び合格者がいた場合のみとなります。）

### **1204 JICA 中国 日中友好環境保全センター「環境にやさしい社会構築プロジェクト」支援業務（研修受託業務・専門家派遣）（195,520円）**

2016年度より新たに始まった 5 ヶ年のプロジェクトにおいて、2018年度は短期専門家派遣等を通じて、中国での環境学習施設の運営や環境教育の推進をはかるための取組及び仕組づくりに、継続して協力を行います。

#### **<2018年度結果>**

中国北京にある日中友好環境保全センター及びプロジェクト関係者との情報交換等を継続して実施していますが、訪日研修の受入や現地専門家派遣等については、関係者との協議の結果、2018年度の実施はありませんでした。

### **1205 その他 国際事業（調査、案件形成等）（2,899,750円）**

環境教育、環境学習施設運営、市民参画を通じた国際協力の研修・事業についてのリサーチを随時行い、新たな案件形成につなげます。インドネシア・スラカルタ市での草の根技術協力事業の提案を行う予定をしており、採択された場合、2018年度中のプロジェクト開始を見込んでいます。

#### **<2018年度結果>**

JICA 草の根技術協力事業へのインドネシア国スラカルタ市でのプロジェクトの再提案については、JICA の要求事項であった京都市、スラカルタ市間での直接の協議の機会を設けることができず、2018 年度の提案は見送りました。

### (3) 地域環境活動支援事業 (事業番号1301~1302) (予算額は人件費込)

※下記の事業を中心に、2018年度より京都市から貸与される「水素で走る燃料電池自動車 (FCV)」を活用し、利用段階で温室効果ガスの排出がなく、将来のエネルギーとして中心的な役割を担うことが期待される「水素エネルギー」の啓発に取り組みました。

#### 1301 京都市「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援業務 (9,183,000円)

京都市内で地域活動の中心的な役割を担っている「学区」に対して、地域性を活かした学区独自のエコ活動、地球温暖化の現状と対策をはじめとする環境保全に関する知識を提供する学習会、省エネ体験会の開催等、地域の意欲に応じた支援業務を実施することで、地域ぐるみのエコ活動を推進します。(市内全 222 学区対象)

<2018年度結果>

- ・ 京エコロジーセンターに「エコ学区サポートセンター」を開設し (平日 9 時~17 時)、地域ぐるみのエコ活動についてのワンストップサービスの相談窓口として対応しました。エコ学区として宣言した市内全 222 学区に対し、学習会の実施などを通じて、地域ぐるみのエコ活動を促進しました。
- ・ 年間で計 1,547 回 (前年度比 107%)、学区へのヒアリングやエコ活動の現場取材、地域への直接アプローチを行うなど、ニーズに合わせ迅速に対応しました。

京エコライフプログラム (3学区実施) 銅駝・久我・竹田	学区が小学校と連携して行う、地域性をいかしたエコ活動を通じて学区のエコ活動が小学生などの家庭やPTAに広がるように努めました。
エコ学区ステップアッププログラム (5学区実施) 元町・豊園・今熊野・桃山・鷹峯	エコ×防災や高齢者の見守りなど、地域課題に絡めたエコ活動を行いました。
省エネナビ (電気消費量計測機器) を用いた学習プログラム (4学区実施) 朱雀第三・上鳥羽・乾隆・醒泉	家庭の電気使用量の見える化を行う「くらしの匠~省エネ実感生活~」のプログラムを実施しました。
学習会 (20学区実施)	様々なテーマで実施し、1,354名 (大人 436名・子ども 918名) が参加しました。
ブース出展 (20学区実施) ブース型学習会 (20学区実施)	様々なテーマで実施し、2,731名 (大人 657名・子ども 2,074名) が参加しました。
啓発資料の作成	地域のエコ活動を紹介する「エコ学区かいらんばん 11・12号」を作成しました。

#### 1302 京都市「市民協働発電制度地域コミュニティ版 再生可能エネルギー導入支援」業務 (1,600,000円)

京都市では、地域のコミュニティ組織が主体となった再生可能エネルギー利用設備の普及拡大を図ることを目指しており、地域住民の合意形成のほか、当該地域における再生可能エネルギーによる発電事業に関する調査や事業化を検討するコーディネーターや専門家の派遣業務を行います。

<2018年度結果>

7 地域（久我・銅駝・上高野・菊浜・市原野・中川・八瀬）に支援を実施しました。

#### （４）講師派遣事業（事業番号1401）

##### 1401 講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）

外部でのセミナーやシンポジウム等に職員を派遣し、環境教育、環境学習施設運営やボランティアコーディネーション等をテーマとした講演や事例発表を行います。

また、依頼元の要望にあわせた出前講座、セミナーやワークショップの企画実施を通して、他団体による環境活動の支援を行います。

<2018年度結果>

- ・ セミナーやシンポジウムに職員を派遣し、環境学習施設運営や市民参画・ボランティアコーディネーションについての講演や事例発表を行いました。
- ・ 依頼元の要望にあわせた出前講座やワークショップの企画実施などを通して、他団体による環境活動を支援しました。

実施日	事業名	主催
5月23日	「日中都市廃棄物減量化政策研究ワークショップ」への講師派遣	龍谷大学社会科学部研究科
6月22日	JICA 課題別研修「エネルギーの高効率利用と省エネの推進（E）」への講師派遣	一般財団法人省エネルギーセンター
7月16日	JICA 草の根技術協力事業「湖南省洞庭湖流域農村水環境改善プロジェクト」にかかる訪日研修への講師派遣	公益財団法人淡海環境保全財団
7月27日	京都生協北ブロック ほっこりこみゆにていソーラー工作教室「あしかがクルクルまわるよ」への講師派遣	京都生協北ブロック ほっこりこみゆにてい
8月18日 8月20日	奈良文化財研究所「平城宮跡解説ボランティア勉強会」への講師派遣	奈良文化財研究所
9月15日 9月16日	ボランティアコーディネーション力検定2級直前研修への講師派遣 *職員が検定試験委員として参画	特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会
10月11日	JICA 課題別研修「博物館とコミュニティ開発」への講師派遣	国立民族学博物館
10月30日	JICA・マレーシア国別研修「LEP2.0行政初級職人材育成・プロジェクト管理」への講師派遣	公益財団法人太平洋人材交流センター
12月1日	「ESD推進ネットワーク全国フォーラム2018分科会」への講師派遣	ESD活動支援センター、文部科学省、環境省ほか

12月5日	JICA・マレーシア国別研修「LEP2.0 中間管理職のための指導教育」への講師派遣	公益財団法人太平洋人材交流センター
1月26日	京都佛立ミュージアム「不都合な真実展」併催「仏教と環境展」トークイベントへの登壇	京都佛立ミュージアム
3月4日	JICA 課題別研修「総合的な廃棄物管理（全般）(B)」への講師派遣	中部リサイクル運動市民の会
3月5日	「JCL 外国語学院研修」への講師派遣	JCL 外国語学院
3月23日	イオンチアーズクラブ兵庫京都滋賀奈良地区予選会への審査員派遣	イオンリテール株式会社近畿カンパニー

## (5) 調査・研究・開発・発信事業 (事業番号1501)

### 1501 これまで蓄積してきたノウハウのソーシャル・ビジネス化

協会がこれまで蓄積してきた、施設経営・環境教育・ボランティア教育・NPOや地域活動支援のノウハウ、それらに関するコンサルティングや資源提供をソーシャル・ビジネス化するための調査・研究・開発・発信を行い、協会の将来展望をひらきます。

<2018年度結果>

- ・ 学会等における協会の取組の発信を行うと共に、これまでの経験・ノウハウを活かし、その取組をさらに高め、発信するための研究会や委員会等への参画を行っています。
- ・ 中国、韓国で発行される環境教育関係の雑誌等へ、協会の取組の紹介原稿を寄稿しました。

実施日	事業名	主催
8月18日 8月19日	日本ESD学会第1回大会への参加とワークショップ（ユース世代とのESD・SDGs推進について）の実施	日本ESD学会
8月25日 8月26日	日本環境教育学会第29回大会への参加と口頭発表（展示事業に係る実践報告）	日本環境教育学会
2月2日 2月3日	ワン・ワールド・フェスティバルへの出展	ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会
3月2日 3月3日	全国ボランティアコーディネーター研究集会2019での分科会「シニアの心を動かせ！」「文化施設が豊かになる“5つ”のこと」実施	全国ボランティアコーディネーター研究集会2019実行委員会、特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会

### 【研究会・実行委員会等への参画実績】

実施日	事業名	主催
通年	日本環境教育学会プロジェクト研究「学校環境教育プロジェクト」参画	日本環境教育学会「学校環境教育プロジェクト」

通年	ボランティアコーディネーション力検定試験委員会への参画	特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会
5月～12月	第23回「青少年のための科学の祭典」京都大会 実行委員会への参画	「青少年のための科学の祭典」京都大会実行委員会
6月～3月	「全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019」 実行委員会への参画	特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会、全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019 実行委員会

### 【プロモーション・ファンドレイジング】(235,820円)

外部専門家を交え客観的な視点を交えながら、協会の組織基盤強化へ向けた現状と課題を分析し、それらを解決していくための計画を策定します。あわせて、この計画の策定や実行に活用できる助成金取得に向け申請を行います。

また、京エコロジーセンターの事業を初め、国際事業や地域での取組等、協会事業の成果を広く一般に発信するため、国際協力系の外部イベントへの出展や、協会のホームページの内容の充実を行います。

#### <2018年度結果>

- ・ 協会の組織基盤を固め、持続可能な運営体制を築くため、外部の専門家を交えた戦略会議を計11回実施し、協会の現状と課題の分析及び整理を行いました。この会議での検討結果から、2019年度計画を策定し、「人材育成タスクチーム」と「ファンドレイジング・コミュニケーションタスクチーム」を編成して取組を進めていくこととしました。また、国際協力系の外部イベントとしてワン・ワールド・フェスティバルへ出展し多くの来館者へ協会の事業を発信しました。協会のホームページの内容の充実に向けた取組は、担当職員の体制変更等を受け、本年度は実施出来なかったため、来年度随時実施する予定です。

## 収益事業

### 5101 施設の使用許可及び公金徴収事務

京エコロジーセンターでは、会議室等の貸し出しを行っており、利用できるスペースは会議室2、視聴覚室(シアター)、リサイクル工房(実習室A)、エコ厨房(実習室B)が各1となっています。京エコロジーセンターの認知度を上げるための効果的な広報等に取り組み、来館者数、利用率の向上を図ります。※徴収した使用料金は全額京都市の収入となります。

#### <2018年度結果>

利用回数	利用者数	使用料金合計
422	4,880	1,101,050円

※3月末までの開館日数は、305日です。

### Ⅲ 附属明細書

2018 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年 5 月

公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会

～一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（抄）～

第 34 条 事業報告

3 事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。